

会 議 要 旨

会 議 名	令和 6 年度第 2 回 館山市コーラル会議
開 催 日	令和 7 年 3 月 2 5 日（火）午後 1 時 2 5 分～ 2 時 1 0 分
開 催 場 所	館山市役所 4 号館 2 階 第一会議室
出 席 者	[委員(敬称略 5 0 音順)]合計 7 名（欠席 5 名） 青木 鉄弘 石井 敏宏 石渡 秀嗣 出口 洋子 長尾 典子 西村 勝利 吉田 育世 [市] 川崎市民協働課長、和田副課長、當麻副主査、吉田主事
公開・非公開の別	公 開
傍 聴 人 数	0 名（定員 3 名）
会 議 内 容 議事進行 吉田会長 （事務局）	1. 開会 2. 議事 今後の「男女共同参画推進プラン」について 【事務局より】 ○『第 4 期館山市男女共同参画推進プラン』（計画期間：平成 3 0 年度～令和 9 年度）を、令和 8 年度から開始予定の『第 5 次館山市総合計画』に組み込むことを検討したい。 ・市の最上位計画である『総合計画』に組み込むことで、市の全部署及び全事業に、男女共同参画の視点を加えることができる。 ・国際的にみて、SDGs（持続可能な開発目標）のゴール 5 として、「ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う」ことが掲げられるなど、性別に捉われない世の中に移行しつつある。 ・事務の効率化及び行財政改革。 【ご意見・ご質問】 ●現『第 4 期館山市男女共同参画推進プラン』策定にあたる検討の中で、すでに事業数が多すぎるという意見があった。令和 4 年度の中間見直しでも同意見が出ていた。ずっと、計画をもっと短くすべきと思っていたが、逆に総合計画に入れることで全部を網羅するという考えを聞いて、良いのではないかと思った。 ●総合計画に入ることでのデメリットはあるか。 →無いと考えている。 男女共同参画推進プラン策定のための労力を啓発活動にかけることが出来たり、総合計

	画の前段に入れることで、すべての業務を、性別に関係なく行えるよう啓発ができる。 ●男女共同参画推進プランの事業に関連する様々な計画に、同じことが書いてある。「一貫していて良い」という考え方もできるが、総合計画に入れることで、うまく整理されていけばと思う。 ●例えば、元気な広場は施設ができてから随分経つ。最近は父親等の男性も多く利用しているが、施設が「お母さんのための子育て施設」の造りになっているように感じる。そういうった、理想と現実が離れていくことが無いようにしたい。 ●「性別に関係なく」という考え方を、館山市のすべての業務に染み込ませていくという考えは良いと思う。 ●今まで単独の計画だったものを総合計画と一体の計画にするのは、近隣市では館山市が初めてか。 (事務局) →おっしゃるとおり。千葉県でも先駆けと認識している。 ●今までと違う形にするのは大変だと思うが、とても良い取組。計画を策定する労力を啓発に注げるとするのは、最大のメリットだと思う。 ●総合計画に入れることですべてに浸透させるという取組は非常に賛成。ただ、それにより、逆に埋没してしまったり、蔑ろになることは避けたい。「総合計画に入れたから、皆さんよろしくね」では良くない。 (事務局) →現在の指標を見直し、毎年評価を行うことでの状況把握を考えている。 ●SDGsのように、「性別に関係なく」というのがすべての業務に連動しているということが目立つ形で残れば良いと思う。 ●市民の感覚が追いついているのか疑問に思う。例えば「ワーク・ライフ・バランス」は男女共同参画の要だと思うが、実際にはどうなのか。総合計画の中では埋もれてしまう。市民の皆さんの意識をもう少し持ち上げてからでもよいのではないか。 ●年代によっては「男女共同参画推進プラン」よりも「総合計画」の方が受け入れやすかったり、わかりやすいこともある。 ●千葉県は「男女共同参画条例」ではなく、「多様性条例」をつくった。男女で分ける時代ではないのだと思う。みんなが「お互いに認め合いましょう」ということが根底にあるようになればいいと思う。 結論 ・総合計画への組み込みに「全員賛成」で決定。 3. その他 【事務局より】 ・3月31日で現コーラル会議委員は任期満了となるが、第2回会議の要旨確認までは、現委員に依頼。 ・4月からの事務局の体制について説明。 4. 閉会
--	--